

2018年3月 SLA イノベーション WG 活動報告

2018年3月29日

日本クラウドセキュリティアライアンス (CSA ジャパン)

有田 仁

1. WG アウトプットに関する活動

- WG ミーティング実施

2018年3月24日(土) 13:00～、於) グランフロント大阪北館内

- EU 研究フレームワーク Horizon 2020/SLA-Ready/CRM ドキュメント(下記リンク)内の第6章(クラスタリング手法の適用)、第7章(スコアによる細分評価)に基づく、CSP 比較評価モデル解説資料取り纏めの最終段階。その「考察」部分では、デジタルヘルス事例(Use Case 16)をピックアップ、データバックアップや暗号化対策、GDPR、スマートコントラクト等のキーワードに絡め、クラウド SLA の留意点を盛り込む予定。

http://www.sla-ready.eu/sites/default/files/d2.4_a-common-reference-model-to-describe-promote-and-support-the-uptake-of-slas-final-report_vfinal.pdf

- 公開時期は2018年4月となる可能性。
- 本成果物は、昨年5月WG公開の「クラウド SLA の共通参照モデル－ユースケース解説と SME 向け活用法－」を受け、その第二部/応用編としての位置付けを検討。またクラウド SLA の30要件や23事例の加筆補正も行う。
- SLA-Ready Web ページ上の Repository (下記リンク)を参照し、定量的な CSP 比較評価や、個人データ保護、サービス性能、サービス信頼性等に関する SLO レベルでのアプローチとする。

<http://www.sla-ready.eu/sla-repository>

- 特定分野(デジタルヘルス、ライフサイエンスなど)の SME (中小企業、SaaS スタートアップなど)を代表事例に検討。GDPR 施行を間近に控える中、CSA CCM/CAIQ/STAR もベースにクラウド SLA の包括的な指針とりまとめを目指す。

2. WG 活動基盤拡充に向けた活動

- 特になし

以上